



AIPPI年次総会（イスタンブール）への参加を振り返って

1. はじめに

私は2021年7月～2023年7月まで、米国にて留学及び現地研修を行い、同月、所属するTMI総合法律事務所に復帰しました。今回は、同事務所より派遣され、同年10月22日から25日にわたりトルコ・イスタンブールにて開催されたAIPPI年次総会に参加しましたので、その様子をご報告します。

2. AIPPI年次総会について

AIPPIとは、Association Internationale pour la Protection de la Propriete Intellectuelle（国際知的財産保護協会）のことであり、知的財産権の保護に関する法律の発展に寄与することを目的とされた、非営利団体です。一世紀以上の歴史を有しており、世界的な知財の基本的枠組みを規定したパリ条約の改正につながる重要な役割を果たしています。

年に1度開催される年次総会においては、様々なトピックについてミーティングやPlenary Session等が開催され、AIPPIとしての提案事項の決定なども行われます。2023年の年次総会は、トルコ・イスタンブールのHilton Istanbul Bomonti Hotel & Conference Centerにて開催され、約90か国から約1900人が参加したようです。



会場に設置された2023年年次総会のロゴマーク。

3. 2023年AIPPI年次総会の内容等

初日にあたる10月22日は、複数のStudy Committee Meeting等が開催された後、18時から19時の間に、初回参加者向けのFirst Time Attendees' Cocktailというイベントが行われました。私も、初回参加者として同イベントに出席してきました。会場には数百人の参加者がいたように思います。当然ながら、初めてAIPPIに参加する人たちばかりであり、私自身を含めた参加者の多くは、開始直後は様子を探っていましたが、お酒を手に時間が経つにつれ、隣の人の声も聞きづらくらい盛り上がっていききました。

同イベントが終わるとすぐに、Opening Ceremonyが開催されました。AIPPIの会長を務められている奥山尚一弁護士による開会のご挨拶を初め、複数の方々のスピーチが行われた他、地元トルコの伝統的なダンスや音楽、より現代的なパフォーマンスが披露されました。Opening Ceremonyが終わると、会場の外でWelcome Receptionが催され、立食形式で食事と飲み物が提供されました。初回参加で、かつ知り合いもほとんどいない私にとっては、他の参加者と仲良くできるのか心配でしたが、いざ会場に行ってみると、すぐに別の参加者から一緒に食事をとろうと誘われるなど、皆さんとてもフレンドリーに接してくれました。そのお陰ですぐに場に馴染むことができ、結果として多くの参加者たちと知り合えることができました。

2日目は、午前中からPlenary SessionやPharma Session、Panel Sessionが同時並行で複数開催されました。私自身は、事務所の同僚とともに、諸外国の弁護士等とのミーテ

ィングを行うなどして他の参加者と親交を深めました。

同日夜には、Cultural Eveningというイベントが開催されました。同イベントは、本会場からバスで40分程度移動したBinbirdirek Sarniciという会場で行われました。同所は、4世紀に建てられた貯水池の跡地であるとのことですが、それを丸ごと会場として利用する形でパーティが行われました。立食形式のパーティであり、会場内を移動しながら多くの参加者たちと会話することができました。



Cultural Eveningの様子。

3日目においても、複数のセッションやミーティングが行われました。一方で、この日の夕方はFree Eveningとされ、公式のイベントは設定されていませんでした。公式イベントがないことを利用して、多くの現地法律事務所が独自にレセプションパーティを開催しており、AIPPIの参加者の多くは、いずれかの（人によっては複数の）レセプションパーティに参加したようです。私自身も、現地法律事務所のうちの1つが主催したパーティに参加してきました。

最終日である4日目においても、複数のPanel Sessionが開催された他、UPC Mock Trialも開催されました。本年6月1日に正式に開始された欧州のUPC（Unified Patent Court）については、参加者の多くが関心を有しており、本年のAIPPI年次総会にはうってつけのトピックであったように思われま

す。

最終日の夜にはClosing Dinnerが開催され、次回の開催地である中国の関係者を初めとする方々のスピーチがありました。同イベントは着席形式であり、参加には予め申込みが必要でした。約100テーブル・1200席の用意がありましたが、ほとんど満席の状態でした。

4. イスタンブールについて

AIPPIの日程を終えた10月26日は、日本への飛行機までに多少の時間があつたため、イスタンブール市内を散策することができました。イスタンブールには、トプカプ宮殿やアヤソフィア、ブルーモスク、地下宮殿といった歴史的な建造物が多数存在しています。キリスト教文化とイスラム教文化のせめぎ合いの痕跡が見られた他、随所からイスタンブールの歴史の長さを感じることができました。また、イスタンブールの食事はとても美味しく、バリエーションも豊かでした。

5. おわりに

AIPPIの年次総会は、2024年に中国・杭州で開催された後、2025年には横浜で開催される予定とのことでした。今回の参加者の多くは、横浜開催に伴う来日をととても楽しみにしている様子でした。私個人としても、今後も継続的にAIPPIの年次総会に参加できればと考えています。

筆者紹介

高梨 義幸

弁護士（日本・カリフォルニア州）。2013年弁護士登録。TMI総合法律事務所に入所後、特許訴訟、特許無効審判その他特許紛争案件を中心に業務を担当。慶應義塾大学大学院修士課程修了（主に通信技術を専門）、早稲田大学法科大学院修了、カリフォルニア大学バークレー校ロースクール（LL.M.）修了。